

平成 17 年 10 月 3 日  
大日本住友製薬株式会社

岡本康男会長 10 月 3 日新社発足式ご挨拶（要旨）

いよいよ大日本住友製薬が活動を開始する朝がやってきました。皆さんと共に記念すべき今日このスタートの時を迎えられることを大変うれしく思っています。

新社の発足を皆さんと一緒に祝いすると共に、新しい歴史の確かな第一歩をしっかりと踏み出したいと思います。

新社のスタートにあたり、皆さんに理解していただき、実践してほしいこととお話します。

新社の基本となります企業理念は「人々の健康で豊かな生活のために、研究開発を基盤とした新たな価値の創造により、広く社会に貢献する」というものです。

私たちが受け継ぐ事業は多くの先輩が長年にわたり努力して築かれた貴重な財産です。私たちには、医薬品を中心とするこの貴重な事業をより一層立派に育てる責任があります。そして、事業を発展させることにより、これからも社会に貢献していかなければなりません。

また、新社は企業市民として、21 世紀の社会の要請に応えられる近代的な会社として、厳しい事業環境の中でも、持続的に発展していく会社にならなければなりません。

私たちの努力によりさらに信用を大きくし、新社をどこにも負けない信用を誇れる会社にしたいと願っています。

従業員の皆さんは、一日も早く、明るく、たくましく、生き生きと仕事に専念し、皆さんの持てる能力を、思う存分新社において発揮していただきたいと願っています。

皆さんご自身も「自分たちが新しい会社をつくっていくのだ。素晴らしい会社にしていくのだ」という強い気持ちをかた時も忘れず、今日からの仕事に取り組んでいただきたい。

また、より大きい社会的責任を背負った立場となることを自覚し、遵法の精神をしっかりと持って仕事をするとともに、すべての職場が嘘や隠し事がない、公私の乱れのない、明るい、風通しのよい職場でないといけません。こうした自覚を皆さん全員に共有していただき、立派な会社をつくりたいと思います。

以上

平成17年10月3日  
大日本住友製薬株式会社

宮武健次郎社長 10月3日新社発足式ご挨拶（要旨）

昨年11月の統合合意発表から10ヶ月余り、本日もめでたく「大日本住友製薬株式会社」がスタート出来ることとなり、万感の思いであります。ここに全国5000人を超える役員・従業員一同で新社のスタートを心からお祝いしたいと思います。

新社は、両社の歴史と伝統を継承する一方で、皆が新しい知恵を出し合って、大日本製薬でもなく住友製薬でもない大日本住友製薬という新しい文化を育て、全く新しい歴史づくりを始めていく訳です。この為には、過去の慣習や経験の延長線にない発想が必要で、従業員自らが変わっていかねばなりません。

具体的な経営目標と合併の大きな目的であるシナジーについてお話しします。

新社は2007年度の経営目標として、売上高2800億円、営業利益500億円を掲げています。この中には統合によるシナジー効果が見込まれています。この目標は、厳しい業界環境の中で「存在感のある先進的な製薬企業」の実現という将来の大きな飛躍への布石を打つという私の強い思いを込めた数字です。

目標達成に向けて、統合による早期に達成したいシナジーとして最も重要であると考えているものが次の3点であります。

第一は、営業のシナジーです。営業力とは何かということですが、それはMRの絶対人数、即ち数の論理、そしてMRのマーケティング力、即ち質の論理です。この数と質の論理を如何に組み合わせるかが最大のポイントです。

次にコストシナジーですが、まずムダとムラをなくすことから始めていただきたいと思っています。現在新社として有する資産を徹底的に有効に活用し、我慢するところは我慢していただきたいと思っています。

最後に、意識のシナジーですが、まずは旧社にとらわれず、従業員の相互信頼を基本として風通しのよい職場を作り、最初からスピード感をもって仕事に取り組み、組織の一体感と活力を高めていってほしいと思います。各部門ともそれぞれの目標に向かって新たな一歩を踏み出す勇気がひいては会社全体の成長のエネルギーとなることを常に頭に入れて行動して頂きたいと思っています。

皆さん一人ひとりの夢見る力を新社発展の原動力として、一緒に新しい歴史を作っていきます。

以上